

- ✓ 食品ロス・食品廃棄物等の利用状況等（平成 26 年度推計）公表
- ✓ 国連生物多様性の 10 年「グリーンウェイブ 2017」実施中



資源循環事業
TOPICS

食品ロス・食品廃棄物等の利用状況等（平成 26 年度推計）が公表されました（環境省・農水省）

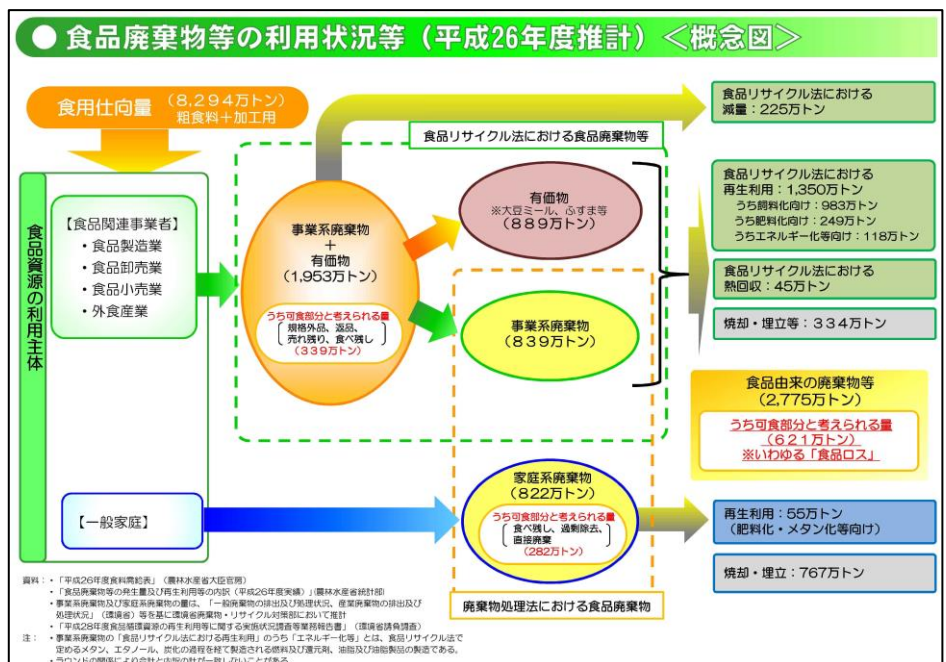
環境省及び農林水産省は 4 月 11 日、食品ロスを含む食品廃棄物等の利用状況等（平成 26 年度推計）を公表しました。それによると、食品廃棄物等は約 2,775 万トン、このうち、まだ食べられるのに捨てられている食品ロスは約 621 万トンとなりました。

●食品廃棄物等・食品ロスの推計結果の推移（過去 3 年発表分）

	食品廃棄物等	食品ロス
平成 24 年度	2,801 万トン	642 万トン
平成 25 年度	2,797 万トン	632 万トン
平成 26 年度	2,775 万トン	621 万トン

●食品廃棄物等の利用状況等（概念図）

PC でご覧の方は、図をクリックすると拡大してご覧頂けます（ブラウザが開きます）。



また、詳しい内容は環境省ホームページに掲載されています。

<http://www.env.go.jp/press/103939.html>

国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」 6月15日まで実施中

生物多様性条約事務局は、国連が定める「国際生物多様性の日」(5月22日)に、世界各地の青少年、子どもたちの手でそれぞれの学校や地域等で植樹等を行う「グリーンウェイブ」への参加を呼びかけています。

これを受けて、農林水産省、国土交通省、環境省及び国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)では、生物多様性に関する理解が社会に浸透するように、植樹等をきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため、3月1日から6月15日までの期間を国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」として、広く活動への参加を呼びかけています。

SEFもこの趣旨に賛同し、5月27日(土)に日向の森(千葉県山武市)にて植樹祭を開催します。詳しくは次ページ「SEFからのお知らせ」をご覧ください。



2011-2020
国連生物多様性の10年

THE GREEN WAVE

Japan Committee for United Nations Convention on Biological Diversity
2011-2020
国連生物多様性の10年日本委員会

グリーンウェイブに参加しよう!

Let's Join the Green Wave!

期間: 3月1日~6月15日

生物多様性のために、世界各地で一斉アクション。
生物多様性条約事務局は、「国際生物多様性の日」(5月22日)の午前10時(現地時間)を中心に、世界各地の学校や地域などで植樹等を行い、生物多様性を考えるグリーンウェイブ活動への参加を呼びかけています。
地球上に東から西へ広がっていく様子を、「緑の波(グリーンウェイブ)」と表現しています。
あなたもグリーンウェイブに参加しませんか?

グリーンウェイブ活動

木を植える活動 | 森や木の手入れや保全活動 | 森や木にふれあう活動 | グリーンウェイブを支える活動

苗木の提供、活動のための技術指導や情報提供、活動の場所の提供、呼びかけ・とりまとめ

詳しくは、www.greenwave.undb.jp

SEFからの

おしらせ

【資源循環事業】


ゼロエミッション研究会(第1期)受講者募集!

本年度より、排出事業者の立場から廃棄物・資源循環の課題に“本気”で向き合い、解決への道筋を導き出す場として、「第1期 ゼロエミッション研究会」を開講します。

勉強会は全10回、充実の講師陣による講演と、参加型ワークショップの2部構成で展開します。単なる「学び」の場ではなく、直面している課題について業種・業界の枠を超えて議論を交わす「実践」の場として、課題解決の道筋を皆様とともに探っていきたいと考えています。

第1回は、廃棄物関連法令に精通されている弁護士の佐藤泉先生を講師に迎え、6月20日（火）15時から開催します。

お申込みはお電話・FAX・メール・ホームページから。皆様のご参加をお待ちしております。PCでご覧の方は、画像をクリックするとご案内ホームページに移動します（ブラウザが開きます）。



ゼロエミッション研究会 再始動

第1期生(定員20名)募集!!

2017年6月～2018年3月(10ヶ月間・10回開催)

ゼロエミッション研究会 概要

プログラム

勉強会
都内会場 毎年10回開催 各回 15:00～18:00
【プログラム基本構成】
15:00～16:15 講演、質疑応答
16:15～17:45 休憩(昼食、交流)
17:45～18:00 まるめ、お楽しみ

見学会
宿泊での優良事例見学会を1回開催
※旅費等は別途がかかります。

年間受講者向けサービス
★無料相談随時受付(月1回、2時間まで)
※地方の増設受講費あり

- 廃棄物管理リスク診断(1事業所)
- 処理状況確認トレーニング(1業者)
- 廃棄物処理業者マッチング相談(1回)
- 欠陥講座の映像・資料によるフォローアップ

定員 20名
入会金 なし
受講料 ※税込価格 ※見学会受講費別途

年間受講料(10回+見学会)	
一般	会員・SEF Net ユーザー
80,000円	50,000円
1回受講料	
一般	会員・SEF Net ユーザー
10,000円	6,000円

日程(予定)

第1回	2017年 6月20日(火)
第2回	7月20日(木)
第3回	8月22日(火)
第4回	9月21日(木)
第5回	10月17日(火)
第6回	11月16日(木)
第7回	12月19日(火)
第8回	2018年 1月16日(火)
第9回	2月13日(火)
第10回	3月13日(火)

勉強会会場(予定)
トレジャーリング会議室
(東京都中央区築地2-6-16 エターナルビル3F)
【昼食】 併席券 ¥ 昼食別途 ¥ 1分 【昼食】 併席券 ¥ 6 出口徒歩 2分
【夜食】 併席券 ¥ 併席券 ¥ 7 出口徒歩 5分
【夜食】 併席券 ¥ 併席券 ¥ 13分

ワークショップ
3回～4回を1セットとして1つのテーマを振り下ろし、「本音」と「本気」の議論の中から「本質」な課題を見出し、その解決の道筋を探ります。
【テーマ(候補)】
●バリューチェーン全体で考える「食品ロス」削減に向けた課題とその対策
●排出事業者の視点から見た廃棄物関連法制度の難点とその解決方法とは
●ゼロエミッションの推進に向けて社内の合意形成を実現するためのポイントを整理

充実の講師陣
※講演数増予定(順不同)

弁護士 佐藤 泉 氏	廃棄物関連法令・利用の最新状況
千原 研一 氏	産廃 Gメンが知る廃棄物管理の裏側
ユニー株式会社 荻原 剛子 氏	地域産業型食品リサイクルの取組み
日本マクドナルド株式会社 高橋 一伸 氏	外食産業における廃棄物削減の取組み
株式会社アールエスエコーセンター 齋藤 巧一 氏	施設リサイクル戦略の最新事情
株式会社エルビユー 河村 基 氏	ゴミから経費を考えるデータの分析と活用
株式会社 4510 デザイン研究所 藤原 仁志 氏	廃棄物管理の課題と解決策としての外部活用
横浜国立大学 石川 雅紀 氏	持続可能な社会を担う企業へゼロエミッションに向けて
株式会社コフツク 野崎 雅 氏	施設リサイクルシステム化への最新事情
日本びんまき株式会社 船橋 亮 氏	弊社認定の優良企業からの廃棄物管理、改善事例
SEF 理事長 渡邊 美穂 (特別講演)	これからの企業一企業に求められる役割とは

ワークショップファシリテーター 株式会社ガイディング 代表取締役 志岐 秀明 氏

【森林再生事業】 5/27(土) 日向の森(千葉県山武市)にて記念植樹イベントを開催します!

SEFでは、森林再生事業 TOPICS で紹介した「グリーンウェイブ2017」の趣旨に賛同し、記念植樹イベントを開催します。

＜グリーンウェイブ2017 記念植樹イベント＞

- 日時：平成29年5月27日(土) 9:30～13:00
- 会場：日向の森(千葉県山武市市有林)
※駐車スペースあり
- 内容：記念植樹、森林散策、軽食(薪で調理)
- 費用：無料

詳細については変更の可能性がありますので、随時[ホームページ](#)にて更新しご案内いたします。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております!

SEFの 活動報告

イベント出展報告 4/22～23 アースデイ東京2017(代々木公園)

今年もワタミグループ様のご協力のもと出展いたしました。ブースでは森

林再生事業の紹介として、サンブスギの間伐材を使ったフォトスタンド作りのワークショップを開催。また、資源循環事業の紹介として、家庭の生ゴミを手軽にリサイクルできる「ダンボールコンポスト」の実演を行いました。

木工ワークショップでは、千葉県山武市での活動にスポットをあて、山武の森での活動で出た「サンブスギ」の間伐材を使ったフォトスタンドづくりを開催。ワークショップには2日間で約100名にご参加いただきました。ダンボールコンポストの実演コーナーでは、福岡のNPO 法人循環生活研究所様のネットワークを通じて、2日間で延べ7名のボランティアスタッフがお手伝いに来てくださいました。約170名の方が足を止め、説明に耳を傾けてくれました。

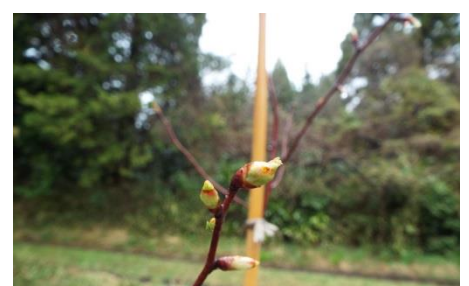


日向の森（千葉県山武市） 4月8日（土）定例活動報告～春の訪れ～

新年度最初の活動は残念ながら雨模様。予定していた活動内容を変更し、アースデイのワークショップのための材料集めを行いました。午後には雨が上がり、森林内を散策。雨上がりの森では、随所に春の訪れを感じさせてくれる光景が見られました。



雨粒をまとい、美しく花開くヤマザクラ



昨秋植樹したヤマザクラ苗木も芽吹き始めています

